

○記憶と記録

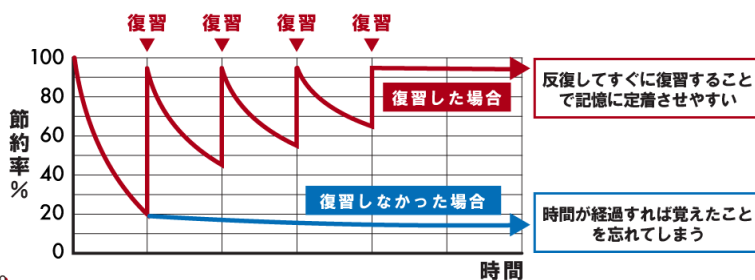
第1回定期考査(6月19日～24日)が終われば、1期が終了します。考査直前は、「学習への取り組み方」を主に取り上げました。今回は、『いかに記憶に残していくか』について掲載します。以下の図をご覧ください。

エビングハウスの忘却曲線と記憶の節約率

エビングハウスの忘却曲線とは

一度覚えたことを再度覚えるためにかかる時間の「節約率」を時間軸で表したものの

$$\text{節約率} = \text{節約された時間} \div \text{初回覚えるのに必要だった時間}$$



👉 記憶の定着率を上げる3つの方法

- 1 苦手なことほど早く復習する
- 2 覚えたことをアウトプットする
- 3 ストーリーづけて覚える

「覚える」ことと同様、「思い出すための学習方法」も重要と考えていきましょう。記憶も大事、記録も大事です。

★予習+復習で記憶に / 授業に積極的に参加し、記憶に残る体験を / ノート等へのインパクトメモ★

○追指導になった場合

考査と、考査以外の成績の合計が40点未満となった科目は、「追指導」を受けなければなりません。内容は各教科から指示があります。合格と認められた場合は40点まで点数が補われます。途中で放棄となった場合は次からは当該科目の追指導を受けることができなくなります。その場合は自力で単位修得となるよう努力してください。追指導対象となった場合も、学校のルールを守って生活し、謙虚で素直な受講態度で臨んでください。

○YDK 講座実施報告

今年度、国語・数学・英語科で「放課後超短時間有志学習会」、YDK(やればできるようになる講座)を実施しています。国語は「熟語の構成(一斉学習)」「主語・述語(個別対応)」を実施、数学は「授業の復習(個別対応)」を実施、英語では「超基礎的英作文(しゃべるだけ個別対応)」を実施しました。授業では取り上げることのできない超基礎的なテーマ、活動主体のトレーニングを実施しています。自主的な参加や担当からの呼びかけで興味を持っている生徒が増えています。「テストのために」「脳トレ」「友達と気軽に」いずれの目的でも歓迎されています。岩出山高校はがんばる生徒を応援する学校です！ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

参加のべ人数 : 国語 + 数学 + 英語 = 35人 (全校の4分の1以上★)

●次回のトピック : 「各学年の夏に向けて」、「各学年の面談について」

【つまり……】

- ★忘れることは当然のこと
- ★★記憶の定着にはコツがある
- ★★★復習がかなり大事
- ☆苦手なものの方が復習必要
- ☆語呂合わせ、キーワード作文なども有効
- ☆☆☆output(書く・読む・話す・教える)!
- ★忘れるのが自然
→思い出すしかない!